



閑静なマラーストラナ地区はかつての貴族の館を利用した大使館が多く、日本国大使館もホテルに隣接している



かつては修道院であった面影が今も残るコートヤード



マンダリン オリエンタル、プラハの正面エントランス車寄せ



筆者 小原 康裕

ホテルジャーナリスト
慶応義塾大学法学部法律学科卒。74年 Munich Re 入社。85年築地原健樹代表取締役。2001年投資顧問会社原健設立、代表取締役 CEO。JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント協会理事。

www.jhrca.com/worldhotel

現在、筆者のホームページで「世界のリーディングホテル」を連載中。多くの美しい写真と興味深いコメントで、世界中のホテルとそれら関連都市を紹介。

マンダリン オリエンタル、プラハ Mandarin Oriental, Prague

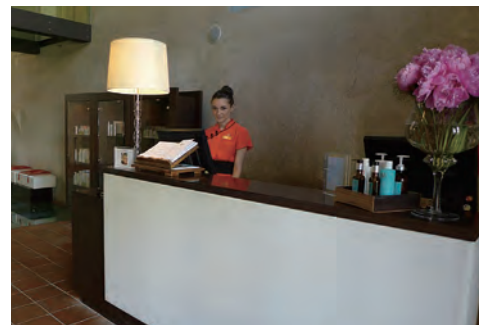
www.jhrca.com/worldhotel?cat42

世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテルエが知っておくべき「世界のリーディングホテル」を紹介する。これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で感じ取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままを撮ってきた写真を掲載する。

※本連載は毎月2・4週号掲載

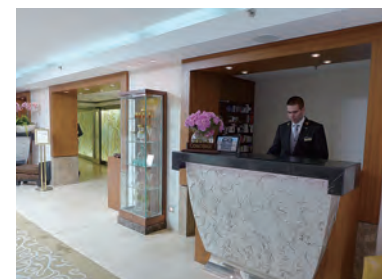


「Mandarin Oriental, Prague」の趣ある正門。14世紀、ドミニコ修道院として使われていた建物がオリジナルで、周囲を摒でぐるりと囲み、ホテルと言われなければ気が付かない風情である



「Spa at Mandarin Oriental Prague」のレセプション

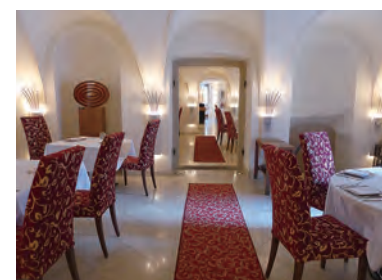
かつては礼拝堂であった建物を改装した世界唯一のスパというユニークな空間である



正面玄関のすぐ横に配置されたコンシェルジュデスク



メインバー「Barego」のエントランス



レストラン「Essensia」のエlegantな空間。モダン・チェコ料理とアジアフュージョンの料理が評判だ



「Essensia」のワインセラーに通じる修道院時代の地下通路



約40㎡を確保した角部屋、「Deluxe Room」のエlegantなベッドルーム。修道院を改装した建物であるゆえ、すべてのゲストルームは異なるデザインで構成されている



総大理石造りのゴージャスなバスルーム
広い玄関ホワイエからライティングデスク方向を望む

スメタナの交響詩『わが祖国』から「モルダウ」の旋律が流れて来そうなプラハ最古の「カレル橋」を渡ると、左手にマラーストラナ地区と言われる石畳の美しい閑静な住宅街に出る。その一角に「Mandarin Oriental, Prague」はひっそりと佇んでいる（以下、MO/P）。周囲を摒でぐるりと囲み、ホテルと言われなければ気が付かない風情である。14世紀、ドミニコ修道院として使われていた建物が、その外枠や柱などを残し全面的に改装され、スタイリッシュな高級ホテルとして蘇った。館内にはアーチ型の窓枠や丸い支柱、天井の高い回廊が残され、かつて修道院だったという歴史が随所に残されていて興味深い。

マラーストラナ地区はプラハ城の南側一帯に広がり、「小地区」または「城下町」とも訳されている。17世紀から18世紀にかけて貴族たちが競って宮殿を建て、その多くが現在も政府の官庁や各国の大使館として利用されている。実際に、ホテルに隣接してデンマーク大使館があり、その隣に日本国大使館が菊のご紋章を掲げている（プラハについては本誌 Vol.79 フォーシーズンズ プラハ参照）。

MO/P は 2006 年に東欧で最初のマンダリンオリエンタルとして開業し、20室のスイートを含めて全99室のゲストルームを擁している。両側にマンダリンの「扇」マークが掲げられた趣ある門を抜け、庭園アプローチを進んで行く。館内は歴史的な修道院の面影と現代コンテンポラリーなデザインが不思議な感覚で融合されている。筆者にアサインされた部屋は「Deluxe Room」で、約40㎡ある角部屋の気品ある造りだ。ちなみに、すべてのゲストルームは異なるデザインで構成されていると聞く。レストランはモダン・チェコ料理とアジアテイストの「Essensia」があり、隣接してメインバー「Barego」を用意している。特筆すべきはスパの「Spa at Mandarin Oriental Prague」であろう。かつては礼拝堂であった建物を改装した世界唯一のスパというユニークな空間である。確かにメイン棟から少し離れた高台にぽつんと建っており、例のマンダリンスパのロゴマークがなければ気が付かない。

MO/Pはこの歴史的建物の保存に目に見える形で応えている。例えば、スパのエントランスホールに一部ガラスの床があり、その下にライトアップされた14世紀の教会の土台部分がディスプレイされている。また、レストラン「Essensia」の地下部分にも修道院時代の地下室が残され、今も地下ダイニングやワインセラーとして活用されている。歴史の時空を超えた興味深い高級ホテルと言えよう。

世界のリーディングホテルから厳選
ホテルジャーナリスト
小原康裕 渾身の写真集

絶賛発売中

A4変型 フルカラー 128ページ
3,000円(本体価格)

www.obtapub.co.jp/worldhotel/

